

恵みを生かす知恵と工夫で、 まちの魅力を最大限に。

未来につなぐ産業があるからこそ、
担い手が生まれ、まちが元気になる。
農業や漁業を土台とした地域の魅力を育て、
経済的に自立した活力あふれるまちを目指します。

小麦をはじめ 道内有数の農産生産地

網走市の農家一戸あたりの平均耕地面積は40ヘクタール以上。市内には約50の営農集団組織があり、大型機械を導入した大規模畑作経営が展開されています。

農産物は、畑作3品（麦、馬

鈴薯、てん菜）を中心として、大豆、長いも、ゴボウ、大根などが栽培され、道内有数の農産生産地として知られています。

特に麦は質・量ともに優れ、市内では、うどんの原料として定評のある秋まき小麦「きたほなみ」、パンや麺に適した春まき小麦「春よ恋」、サッポロビールとの契約栽培により道内一の生産量を誇るビール大麦「りょうふう」が栽培されています。

網走産のおいしい小麦を地元で積極的に広めようと、「オホーツク小麦フェスタ」が毎年開催されているほか、平成28年度からは、市内小中学校の給食パンに網走産「春よ恋」を全面使用するなど、地産地消を進めています。

これらを支えているのが、日本最大級の麦乾燥施設として処理能力約3万2000トンを誇る麦類乾燥調製貯蔵施設。小麦の自給率が極めて低い日本で、評価の高い道産小麦の約



網走産「春よ恋」は給食パンのほか、めん類にも使用



網走市麦類乾燥調製貯蔵施設

25%がオホーツク管内で生産されていることは大きな意味を持ちます。今後も良質な小麦を安定的に出荷し、地域農業の活性化を一層推進していきます。

地場産長いもの 加工や輸出で消費拡大

網走市では、地場産長いもの加工や輸出を通じた消費拡大に取り組んでいます。その一つが、

豊かな漁場と資源を守る 持続可能な漁業生産

網走には、オホーツク海を漁場とする海面漁業と、4つの湖で行われる内水面漁業があり、

平成28年から東京農大、オホーツク網走農協、隣まちの大空町と連携して進めている、長いものの機能性成分の分析をもとに加工品を開発する取り組みです。長いものは食物繊維が豊富で整腸作用にも優れた成分を含んでいることから、すりおろした長いものをダイエット食として活用したり、使いやすく粉末に加工するための成分分析を進めています。



ホタテの水揚げ

豊かな漁場と多種多様な漁業資源に恵まれています。この豊かな漁業資源を、いかに安定的に持続し利用していくかが課題となっています。

そのため、さらなる資源管理型漁業やつくり育てる漁業の推進とともに、それらの基礎とな



サケの水揚げ

る漁場環境の保全に取り組んでいます。

海面漁業では、サケ、オホーツクサーモンの資源安定化に向けた調査、ウニやナマコなどの沿岸浅海資源のための漁場造成、そして、つくり育てる漁業ではナマコの種苗生産など、新たな取り組みを進めています。

漁場環境の保全については、網走川流域の農業者と漁業者による河川環境保全に関する共同宣言の締結のほか、環境に配慮した農業を漁業者が応援し「応援証」を発行するなどの取り組みを進めています。

天都山の頂上で 流水体験と絶景を楽しむ

名勝・天都山にある「オホーツク流水館」は、流水とオホー



ツク海の生き物をテーマとした観光施設。北海道最大級の常設プロジェクトマップピングが楽しめるほか、300インチの5面スクリーンを備えた流水幻想シアターが、壮大な自然を映し出します。流水の天使クリオネを間近で見ることができ、



オホーツク流水館

マイナス15度の流水体感室では、本物の流水100トンを表示しています。

標高207mの天都山の頂上からの眺望は、その名の通り「天の都」に似ているような美しさ。展望台では、一面に広がるオホーツク海、網走湖、能取湖、濤沸湖、藻琴湖、知床連山を見渡すことができ、観光客はもちろん市民の憩いの場としても親しまれています。

このまち、 この場所の価値を生かし、 網走の魅力を 伝えていきたい。

株式会社 MID VILLAGE
代表取締役

中村 守宏さん



東京出身ですが、縁あって東京農大オホーツクキャンパスで学生時代を過ごしました。自然の魅力に引かれつつも、若者としてはどこか物足りなさを感じていた大学4年のときに、「遊び場所を自分でつくりたい」とカフェをオープン。失敗も重ねながら10年たった現在は、カフェやカレー専門店など市内と東京で6店舗を運営しています。

中でも「cafe & restaurant 360 (サンクゼロ)」は、市の施設として多くのお客様が訪れるオホーツク流水館内にあり、責任とやりがいを感じています。「このまち、この場所じゃなければできない店づくり」をコンセプトに、オホーツク海を一望する抜群のロケーションの中で網走やオホーツクの食の魅力を楽しんでいただいています。お客様目線を第一にする以上、現状に満足することはありません。

目指すのは「店づくりを通じたまちづくり」。網走の魅力をより多くの人たちに伝えるには、地域に根ざしつつ世界に通用する店づくりをすることが大切だと考えています。東京農大OBとしても、情熱のある後輩たちを卒業後に仲間として受け入れ、地域をリードする人材になるよう応援していきたいと思っています。

Agriculture and Fisheries

Farmers in Abashiri are mostly engaged in large-scale upland farming using large machinery. In particular, the city is known as a major wheat production area in Hokkaido that produces large quantities of high-quality wheat. Fisheries in the city are divided into marine fisheries based in the Sea of Okhotsk and inland fisheries in four lakes. The city is blessed with fertile fishing grounds and a variety of fishery resources.

天都山展望台からの風景